

# ふれあい情報

## 2026年3月2日 (月) 第407号

■発行 日本退職者連合

■発行人 宇田川 浩一

■連絡先 〒101-0062

東京都千代田区神田駿河台

3-2-11



日本退職者連合

HP QRコード

<TEL> 03-5295-0507

<FAX> 03-5295-0541

<e-mail> ntr@sv.rengo-net.or.jp

# 2026年全国事務局長会議を開催

## 2月12日(木) 連合会館2階大会議室



退職者連合は2月12日(木)に全国事務局長会議を開催しました。会議では、この間 各組織で取り組まれてきた「自治体要請行動(中間まとめ)」および「第51回衆議院選挙関係」の報告が行われました。続いて、「2026年特別国会に向けた要求」や「2026年組織実態調査」、「核兵器廃絶1000万署名」の取り組み等について、協議し確認しました。その後連合本部・永井総合政策局長を講師に「2026年特別国会における社会保障制度の動向について」の学習会を開催しました。

### 野田会長あいさつ

#### 〈衆議院選挙について〉

自民党単独で3分の2、316人の当選で圧勝の結果となった。



今回の総選挙は費用が855億円の椅子取りゲームであり、椅子を取ったからには、大きなビジョンを立てて、国民のために日本の政治を動かしていくってほしいと思う。

今回の選挙の焦点は消費税でしたが、減税による損失には一言も触れずに最後は国民会議に委ねるという結論でした。消費税の4割は地方へ配分されるので、地方の社会保障等への影響が懸念される。

私たちは組織の力で今回の選挙を取り組んできましたけれども、SNSの拡散で厳しい選挙になりました。

世界を見てもトランプ大統領の横柄なやり方やロシアのウクライナ侵攻から4年になります。私たちは民主的な世界を、世の中を求めて活動していかなければと思います。

### 核兵器廃絶の署名活動・

#### 〈核兵器廃絶の署名活動について〉

核兵器廃絶の署名活動を行っています。4月末から5月にかけてニューヨーク国連へ、この署名を届ける事になっております。

小さな声を、私たちの大きな声で届けていかなければなりません。

「選択的夫婦別姓」早期実現の取り組みは、法務委員会で議論になったものの、継続審議になり衆議院解散で廃案になりました。

昨年末の男女共同参画会議で、内閣府から委員会で議論されていない内容が追加され、未だに閣議決定はされていません。私たちはこれからも動向を注視していきたいと思えます。

### 〈最後に〉

選挙では負けましたが、前を向いて、18日から行われる特別国会には行動する退職者連合として活動していきたいと思えます。

皆さん、宜しくお願いたします。

### 連合あいさつ

#### 富田副事務局長

衆議院選挙について、退職者連合の皆様には



ご支援とご協力いただいたことに、深く感謝を申し上げます。

結果に対する受け止めは既に事務局長談話を発出しておりますが、ここにおられる皆様をはじめ諸先輩方が積み上げていただいた大きな基盤を失う結果となってしまいました。連合推薦議員を支持する得票も何万票もあり、皆様の意思を無かったことにはなりません。春生活闘争については、2月5日に「2026春生活闘争・闘争開始宣言2・5中央集会」を開催しました。

すべての働く仲間の生活向上をめざし、すべての働く者の5%以上の賃上げ実現にこだわる戦いです。

皆様のご協力も引き続き宜しくお願いいたします。

衆議院選挙、政策・制度要求、組織実態調査など  
報告・提案事項を全体で議論、確認!

会議は  
会長あい  
さつ、連  
合あいさ



宇田川事務局長

その後、退職者連合全役員が自己紹介を行い、スタートしました。

議事では、はじめに報告事項として、①2025年度政策・制度要求に関する全国自治体要請の集約(中間まとめ)、②第51回衆議院選挙関係として退連と連合が発出した各談話等を報告しました。

提案事項では、①2026年特別国会に向けた政策・制度要求について、②2026年組織実態調査の実施について、③「核兵器廃絶100万署名」の取り組みについて、④2026年特別国会政策・制度要求実現2・13院内集会について、を提案し、報告事項・提案事項全般について、質疑応答を行いました。  
出席者からは、衆議院選挙への意見・要望が多く出されました。

2026 春季生活闘争  
闘争開始宣言 2.5 中央集会



「2026 春季生活闘争・闘争開始宣言 2.5 中央集会」は、2月5日、18:30から都内よみうりホールで開催され、会場には943人が集結し、WEBからも大勢の組合員が参加しました。退連は、野田会長はじめ三役会役員・組織が参加しました。集会は、芳野中央闘争委員長のあいさつで始まり、2産別の現場からの決意表明、Action!3:長時間労働是正に向けたアピール行動などが行われ、最後に「がんばろう」を三唱し、閉会しました。

〜〜今後の主な取り組み〜〜

- ◆ 3月以降、2026年特別国会に向けた政策・制度要求の取り組みとして、関係省庁および友好政党への要請行動
- ◆ ジェンダー平等学習会：3月4日  
講師：辻元清美参議院議員
- ◆ 核兵器廃絶100万署名  
締め切り3月末

- 選挙区で一丸となって戦える体制の構築。
- 投票率低下への対応。
- 若年組合員が政治活動に参加するしくみづくり(勉強会の実施、地域集会参加の呼びかけ、投票行為徹底)。
- 30代後半から40代前半の層に刺さる政策立案。
- 連合の社会的認知度の向上(国民運動がたりていない)。
- 高市政権がこの後4年続くことを見越して中道と国民

発言いただいた皆さん、  
ありがとうございました



は全国を歩いて支援者を増やすべき。  
○ 沖縄の基地問題に対する中道議員の発言問題  
：様々な意見については、退職者連合として対応するもの、

連合・政治センターへも報告し、共有するものと整理していくこととしました。  
質疑応答後は、報告事項、提案事項を全体で確認しました。その後、学習会を行った後、会議を終了しました。

学習会

2026年特別国会における

社会保障制度の動向

講師

連合本部

永井幸子総合政策局長



学習会は、「健康保険法等の一部を改正する法律案」について、改正の内容と合わせて連合としての評価について説明をいただいた。

退職者にとって大きく関わる、医療機関における業務効率化についてや、勤務環境改善への責務明確化や後期高齢者医療制度における金融所得の勘案について、ケアマネージャーに関する見直し、ケアプランの一部有料化について等説明がありました。  
参加者からの質問に丁寧な回答を受け、今後の政策・制度要求と実現に向けた諸活動へ繋がる有意義な学習会となりました。

# 2026年特別国会に向けた

## 政策・制度要求実現

### 2・13院内集会を開催

2月13日(金)、退職者連合は2026年特別国会に向けた政策・制度要求実現院内集会を参議院議員会館の講堂において開催し、産別退連、全国の地方退連事務局長および会員など全体で300名が参加しました。

連合から林副事務局長が、政党からも連帯・激励のあいさつに駆けつけていただきました。

集会は、野田会長のあいさつではじまり、来賓のあいさつを受けた後、今後の取り組みを宇田川事務局長が提起、全体で確認し、集会アピールを採択、閉会あいさつ後に、野田会長の先唱による「団結がんばろう」で終了しました。



**紛争の早期終結で  
平和で安心できる暮らしを  
若者へつなごう**

#### 野田会長あいさつ



今回の衆議院選挙はあつと  
いう間の選挙でした。SNSの拡  
散で普通ではない選挙だった  
と思っています。

高市旋風が全国で吹き荒れ、  
勝利に結びつき、自民党は316  
席を確保しました。

私たちは何もしてなかった  
のではありません。昨日、全国  
事務局長会議を開催し、皆さ  
んの声を聞きました。

従前の労働組合精神を生か  
して戦いました。しかし、結果  
はこういう状況になりました。  
引き続き民主主義の社会を目  
指して頑張っていきたいと思います。

消費税減税については5兆  
円の損失をどうするのか、最  
終的には高市総理は国民会議  
に委ねるといった回答でした。

国民会議がどういう会議にな  
るのか分かりませんが、けれども  
高齢者が多すぎる・少子化等  
という事で若者と分断するよ  
うな事を私たちは望んでいま

せん。

本当に残念な選挙結果でし  
たが、民主主義を守る、平和な  
社会を守るために、決してへ  
こたれず、行動していきたい  
と思います。

社会保障は先細りになり、  
介護事業所は25年の倒産が  
176件、そのうちの訪問介護は  
最多で倒産が続いています。

社会保障が機能するよう私  
たちは、厚労省、そして政党に  
要請していきたいと思えます。  
よろしくお願いします。

#### 連帯あいさつ

#### ◆連合

#### 林 副事務局長



衆議院選挙では、各地で現  
役世代の組合員とともに連合  
推薦候補の必勝に全力で取り  
組んでいただいたことに心か  
ら感謝を申し上げます。

突然の解散総選挙は、国民  
生活を置き去りにした政治判  
断であり、物価高騰が続く中  
で実効ある対策が十分に講じ

られず、生活を直撃する負担  
も膨大している。こうした政  
治のやり方は厳しく批判せざ  
るを得ない。連合推薦候補の  
多くが苦戦をし、多くの議席  
を失ったことを重く受け止め  
るが、だからといって諦める  
わけにはいかない。

26春闘は正念場であり、連  
合は賃上げを確実なものとし、  
実質賃金の回復・向上を目指  
し、全体では5%以上、中小で  
は6%以上の賃上げを掲げ、  
物価上昇を上まわる成果を勝  
ち取るために戦う。

政策・制度の実現について  
は、政党が次々と消費税減税  
や引き下げを主張しているが、  
無責任な減税競争ではなく公  
平で持続可能な政治の見直し  
を求め、社会保障についても  
同様に思っている。また、世  
代間対立を煽るような風潮には  
強い危惧を抱いている。年金  
制度の維持・改善、医療・介護  
の機能強化、包括ケアの確立  
等は、全世代の課題である。

退職者組織も一致団結して  
組織を拡大し、政策実現に向  
けた取り組みを強化する、こ  
れこそが今求められている連  
帯の形である。

◇中道改革連合

野田 共同代表

解散から総選挙まで16日間の極めて短時間の運動期間であり、その中でギリギリ結党を間に合わせたが、残念ながら結果は多くのかげがえのない同志を失うこととなった。どんな結果であれ、全国的に悪天候の中、投票場に赴いていただいた民意であり、厳粛に謙虚に受け止めたい。



私は対立を煽るより、むしろきちんと対話をして答えを導いていかなければいけない時代だと思う。また、平和国家の道をまっすぐ歩いていくという覚悟も必要なきだと思ふ。強い経済も必要だが、それが一人一人の生活者に還元されるための改革が必要だ。18日からの国会では、こうした主張を懸命に訴え、頑張っていきたい。

◇中道改革連合

斉藤 共同代表

中道の理念は、包摂、清潔、平和。この中道の旗の



下に結集していただいた多くの皆さん、厳しい結果となり、私も責任を重く感じている。しかし私たちが掲げた理念は決して間違っていないどころか今の日本の状況の中で、これからますます大切になっていくと思う。これから若い方々が活躍して、この中道が大きく開くように、全力を挙げていく決意を申し述べる。

◇立憲民主党

水岡 代表

衆院選では、大変厳しい結果となり、申し訳なく思っている。昨日までの仲間たちへの多くのご支援に感謝を申し上げる。



選挙総括については、中道改革連合の新役員体制のもとで行われると考えている。参議院の進め方については、政策論議、国会運営等を立憲民主党、中道改革連合、公明党の三者で連携し取り組む。

今後の方針は、全国の仲間から意見集約し決めたい。1年後には統一地方選、2年後には参議院選挙がある。我々の仲間がどこを基盤にして戦えるのかを考え、より多くの仲間の思いを実現させられるような組織体制を維持し、今後の選挙に向かっしていきたい。退職者連合の政策・制度要求の、平和や民主主義を守るといった思いと一緒に連帯し戦える組織づくりをしていくのが私たちの責任である。

◇国民民主党

川合 幹事長代行

選挙結果を重く受け止め、各党が同じ様な主張で、選挙の争点が見えない中、高市人気でとんでもない結果になった。また恐ろしい勢いで様々な情報が発信され、政治の怖さを理解ができないような世代の人たちが政治参画を始めた。結果的にこれまで政治に関わった人の常識が通じなくなつたと分析する。



国民民主党は、皆様の政策制度要求を真正面から受け止め、今後の対応を図っていくことを約束する。国民が不在のところでは重要な法案が決まらないように、全世代の皆様が光が当たる政策を目指して頑張る。

◇社会民主党

福島 党首

社民党は今回、議席獲得に至らず、責任を感じる。軍事国家をつくるのか、福祉国家で平和国家であり続けるのか、それが争点だった。憲法9条の改悪が異常な勢いで早く進みかねない。



一緒にこれに立ち向かい、国会を監視して変えていくということをやっていきたい。国会の中で、この流れを変えべく頑張る。

◇公明党

宮崎 労働局長次長

衆議院選挙では、新党・中道改革連合の全面的支援に取り取り組んだ。結果は大変厳しいものとなったが、党の枠を超えて中道の大きな結集が実現したこと、今後の政治にとって極めて重要な意義を持つものと認識する。今回の選挙で、中道と書いてくださった104万人の皆様の期待に応える決意を新たにしている。生活者ファーストや平和を最優先する新しい政治の潮流が確実に生まれてきたと実感する。政策制度要求については、参議院の立憲民主党、衆議院の中道と連携を密にし、実現に取り組む。



～今後の取り組み～

宇田川事務局長提起

◇自民党という大きな山に対しても退職者連合の思いをぶつけ要求実現に向け動かししていく

◇産別退連は現役組織や企業、地方組織は全国の地域における様々なチャネルを探し進める

◇今特別国会での審議に向けて日本退職者連合70万人の会員とその家族の要求実現と平和と民主主義を守る

●年金制度・介護保険制度：2月18日に厚生労働省の官房総括審議官に対して要請

●政党要請：3月～



院内集會に駆けつけて頂いた衆・参議員の皆さん